

平成26年度碓井小学校 学校評価結果について

早春の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。日頃より本校の取組には格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、学校通信等でお知らせしてまいりましたように、本校では学校が行う自己評価をさらに改善につなげていくために、保護者の皆様に各種アンケートのご協力をいただいたり、学校関係者においていただき、評価委員会を実施したりしています。

年度末になりましたので、保護者の皆様の声や学校関係者の皆様のご意見を受け、次年度に向けた改善策をまとめました。紙面にてご報告致します。

解決すべき課題は、次の3点です。

- ① 就労できる心・体力・学力の育成 ※就労できるとは、将来、仕事について働くことができるという意味です。
- ② 休まず、遅刻せず学校に来ること
- ③ ルールやマナー、モラルなどを守るという規範意識の育成

これらの課題を解決するために、Ⅰ：組織運営、Ⅱ：生徒指導、Ⅲ：学習指導、Ⅳ：研修、Ⅴ：保護者・地域との連携と5項目から評価を下の表のように行いました。

Ⅰ：組織運営やⅣ：研修につきましてはかなり改善が進んできたものと考えています。しかし、Ⅱ：生徒指導やⅢ：学習指導につきましては、改善が必要です。生徒指導の充実、学力向上プランや体力向上プランを立て益々の充実に取り組んでまいります。またⅤ：保護者・地域との連携につきましては、PTAの皆様との連携や地域の皆様との連携を強化し深めてまいりたいと考えています。

碓井小学校は、随分と伸びてきてはいますが、まだまだ伸びると確信しています。どうぞ今後ともご理解とご協力をお願い致します。

平成26年度 学校評価（嘉麻市立碓井小学校）

項目	評価指標	評価	自己評価を踏まえた改善策	学校関係者評価委員の意見	学校関係者評価を踏まえた改善策
Ⅰ 組 織 運 営	1 学校の教育目標や教育方針を明確に 教職員のAB評価100%→100%	4		<ul style="list-style-type: none"> ・碓井の皆さん学校通信「夢現」が楽しみです。ありがとうございます。私も地域の一人として子ども達のためにがんばります。 ・困難事例が発生した場合、組織一丸で対応されるように要望します。 ・職員の心の健康づくり推進をお願いします。 ・すばらしい学校の取組です。 ・体力向上が問題となっているが家庭教育の場の設定が必要となると考える。(何をやっても問題が多い。 ・花は子ども(大人も)の気持ちを和らげる大切なものです。花園等花もあり、更に努力され花を増やしてほしい。 ・出勤中の先生方の挨拶は、大変気持ちよくうれしい! ・教室や廊下の掲示物等もきれいです。金魚等もきれいにしてありました。 ・学級の目標など全学級整っています。 ・管理職と教職員が一丸となつての教育への取組が見られ評議員として大変うれしく思います。 ・先生方しっかりと子どもたちと向き合い、子ども達を理解し、指導されてすばらしいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織運営については、よい方向に向かっていっているので、新しい組織への円滑な移行と機能する組織へと改善さらに進める。
	2 学校の組織が連携し、協働体制で取組を行う教師集団 教職員のAB評価80%→91%	4	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい組織をつくり、協働体制を強化する。 		
	3 定期的な評価・改善を図る学校組織 教職員のAB評価75%→91%	4	<ul style="list-style-type: none"> ・各会議の機能化を図り、課題解決のための改善策を実行する。 		
	4 学力向上プランを機能化する学校組織 教職員のAB評価82%→95%	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上コーディネーターの役割を生かし、一層の機能化を図る。 		
	5 体力向上プランを機能化する学校組織 教職員のAB評価59%→76%	3	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を共有し、組織的な取組を強化する。 		
	6 学級・学年経営が充実する教師集団 教職員のAB評価88%→95%	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学年スタッフ会議をさらに充実する。 		
	7 美しく学習の雰囲気満ちた教育環境 保護者のAB評価88%→91%	4	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年や各係などによる教育環境の自主的な整備を促進する。 		
Ⅱ 生 徒 指 導	8 自分のおおことを大切にす児童 児童のAB評価93%→95%	4	○継続	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の一人ひとりの生徒を大切にされていることが自己評価に表れていると思います。 ・児童アンケートが1ポイント下がっているのが気になりました。子どもの小さな変化に気づくのは難しいことは理解していますが、一番重要な部分だと思ひます。 ・いつも挨拶してくれます。 ・子ども達のあいさつ、大人を元気づけてくれます。(特に交通指導の折、子ども達からのあいさつはうれしいです。) ・“おはようございます”とにっこりした顔“学校は楽しいです。先生も好きです。”と笑顔で答えています。子ども達のアンケートが語っています。はじめてきた警察官が「碓井小学校の子どもたちはよくあいさつをしますね。」とほめていました。 ・自分達でルールを作らせてもいいのではないのでしょうか。 ・チャイム席等を守り、評価を高めてほしいと思ひます。 ・NO15遅刻を減らす取組は、取組んでいると思ひますが、親の意識改革を行う事だと思ひます。スクールカウンセラー等を活用し、家庭訪問を継続して下さい。 ・徒歩の登校、よい点も多いけどなかなか難しいですね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の充実により、安心できる学校生活を保障するとともに、不登校解消や規範意識の育成など課題解決を図る。
	9 友だちのことや周りの人を大切にす児童 児童のAB評価99%→98%	4	○継続		
	10 目標をもって行動する児童 児童のAB評価95%→94%	4	○継続		
	11 元気に挨拶ができる児童 児童のAB評価89%→90%	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「気持ちのよいあいさつの仕方」を提起するなど指導を強化する。 		
	12 生活のルールなどを守る児童 児童のAB評価89%→95%	4	<ul style="list-style-type: none"> ・月ごとにふりかえりの時間を設けるなど意識化を図る。 		
	13 良いことをしっかりほめる教師 児童のAB評価93%→93%	4	○継続		
	14 悪い時はきちんと叱る教師 児童のAB評価97%→96%	4	○継続		
	15 遅刻をする児童を減らす取組	2	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価させると 		

		遅刻回数20回以上の児童1人→7人		ともに家庭に啓発を継続する。	特に雨に日はすごく減少します。(遠方のため濡れるとのこと)～親の心配。	
	16	徒歩で登校している児童を増やす取組 晴天時徒歩登校児70%→67%	2	○登校調査を継続するとともに保護者や児童に粘り強く啓発する。	・N017不登校数に入らない休みがちな児童への対応に力を入れてください。 ・友だちに誘いに行かせるなど様々な手立てを取ってください。	
	17	不登校児童を出さない取組 不登校児童0人→2人	2	○マンツーマンの対応を徹底するとともに外部機関とも連携し、対応を強化する。	・不登校児童2人で評価が2というのは厳しすぎるのではないのでしょうか。	
Ⅲ 学 習 指 導	18	人の話をしっかり聴く児童 児童のAB評価94%→94%	4	○継続	・生徒たちへの細かい指導への努力素晴らしいと思います。	・授業充実と家庭学習の徹底等学力向上プランの益々の推進によって、学力向上に努める。また、体力向上プランの推進により体力(耐力)向上に努める。
	19	読書量を増やす取組 月に3冊以上読書をする児童28%(57/202人)→48%(115/240)	3	※評価指標を検討する	・保護者も本を読まなくなっているのではないのでしょうか。 ・読書の大切さ(学力向上に欠かせない)残念ながらスマホ等のゲームが盛んで。※親として使用時間等考えてほしい。 ・家庭学習についてはほぼ90%なので評価は「4」でもいいのではないかと。 ・家庭学習ができる環境づくりは家庭での責任が大きいです。保護者にはもっと子どもに目を向け、声をかけ見守ってほしいと思います。 ・家庭学習が宿題のみになっている児童もいるのでは?自学をさらに推進して下さい。 ・「はいはい」全員の手が挙がる。答えに自信ありの笑顔。グループで発表している学級。どの学級も活気に満ちた授業でした。先生方も笑顔で理解しやすく説明され、日頃の教育熱心そのものだと感じました。ひまわり学級では子どもたちが前に出てはきはきと発表していました。先生方の保護者と変わらないくらいあたたかさを感じました。	
	20	家庭学習の習慣が身に着いた児童 児童のAB評価87%→89%	3	・宿題の点検や指導を組織的に行うとともに啓発を強化する。		
	21	自学が身に着いた児童 児童のAB評価78%→87%	3	・自学のやり方を指導したり、お手本を見せたりして意欲づけを行う。		
	22	分かる授業づくりに努める教師 児童のAB評価91%→91%	4	○継続		
	23	言語活動を増やす取組 児童のAB評価71%→77%	3	・書く時間を確保し、安心して発表できる雰囲気づくりに努める。		
	24	朝自習時間の効果的な取組 教職員のAB評価46%→75%	3	・現在の取組を見直し、効果的な取組を探る。		
	25	基礎・基本の学力が身に着いた児童 NRT学力検査結果全国偏差値49.8(平成26年度4月実施)→(平成27年度4月実施予定)		※平成27年4月実施結果により評価する。	・学力が向上している調査結果報告を先生方の熱意と努力の表れだと頭が下がります。保護者の皆さんも力が入ると思います。 ・プロジェクトKの取組み評価を検証し、今後の体力向上の方針を立案して下さい。あまり効果が出ないのであれば別の取組も考えるべきです。 ・コーディネーション運動を保護者にも紹介してはどうでしょうか。 ・学力・体力ともに向上すればすばらしい子ども達になると思います。	
	26	耐力が身に着いた児童 児童のAB評価91%→92%	4	○継続		
	27	コーディネーショントレーニングを導入する取組 教職員のAB評価40%→59%	2	・嘉麻市スポーツ推進課の指導員を招き積極的に取り入れる。		
Ⅳ 研 修	28	主題研修を計画的に行い、指導力を高める教師 教職員のAB評価87%→95%	4	・今年度の反省をもとに次年度の重点事項を絞って研究の深化を図る。	・先生方は休日まで研修等ががんばっていると思います。くれぐれもご自愛ください。	・主題研修の更なる充実に努めるとともに教職員の実践的指導力の向上に努める。
	29	一般研修で効果的に指導力を高める 教職員のAB評価80%→74%	3	・時間の確保と内容の充実を図る。		
Ⅴ 保 護 者 地 域 と の 連 携	30	PTA総会や保護者懇談会に参加する保護者 保護者のAB評価50%→50%	2	□PTAと連携した取組を充実する。	・何か付加価値をつければ、参加は増えるでしょうか。 ・いつの時代も保護者の参加を増やすのは、課題が大きいものです。	・保護者との意思疎通を図ったり、地域との連携を強化したりしながら、更なる信頼関係の構築・開かれた学校づくりに努める。
	31	「学習のすすめ」など協力して推進する保護者 保護者のAB評価79%→77%	3	・パンフレットを有効活用し、意欲の高揚に努める。 □PTAと連携した取組を充実する。	・宿題の意味や自学の意味などをよく論議して、与えるだけの宿題から子どもたちが自ら学習をしていくような方法を考えてください。 ・気になります。保護者のアンケートの16,17です。学力向上は、保護者にも責任大であり、家庭環境も不可欠です。参加して取組んでみて結果が言える、書けると思います。 ・嘉麻市「碓井地区」の魅力伝える取組に力を入れてほしい。	
	32	地域の「人・もの・こと」を取り入れた授業実践 3回以上行った学級29%→77%	3	・平成27年度の教育指導計画書の中に位置づけ、授業の充実を図る。	・「人・もの・こと」についてPTAや地域の皆様の協力もよいのではないのでしょうか。	
	33	家庭や地域に「よさ」を知らせる広報活動 保護者のAB評価96%→97%	4	○継続		
	34	子どもや保護者の願いをくみ取る学校 保護者のAB評価88%→90%	4	・保護者の声や願いに耳を傾け、期待にこたえるように努める。	・時間が許されるならば、授業に取り入れてほしい。 ・家庭・保護者との連携ができていて信頼の厚さを感じます。 ・毎月2回老人クラブの話し合いをしていますので、学校のお手伝いがあればいつでも話し合います。	
35	人権を尊重して教育活動を行う教師 保護者のAB評価93%→92%	4	○継続	・問題が発生する前にお知らせください。力になれることは協力します。		

